

Syllabus Id	Syl-062332
Subject Id	Sub-062-007700
更新履歴	20060116 新規
授業科目名	日本語 Japanese as the Second Language
担当教員名	高澤啓子 TAKASAWA Keiko
対象クラス	4年生留学生
単位数	2履修単位
必修/選択	必修
開講時期	通年
授業区分	語学
授業形態	講義
実施場所	留学生選択教室

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

(この括弧を消してこの場所から記入してください)

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

日本語能力試験 2 級レベル以上の日本語能力、基本的科学技術用語

	重み	目標	説明
学習・教育目標		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
		D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
		D 日本語による論理的文章の読解力、記述力、口頭発表力、コミュニケーション能力を養う。科学技術分野の表現能力、レポート作成能力の向上。異文化理解。	
学習・教育目標の達成度検査		1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。 2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。 3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。	

授業目標

さまざまな話題に関する論説文を読むことが出来る。自分の専門分野の論文を独力で読むことが出来る。知識として得た用語と表現を実際に使用することが出来る。教科書の読解、講義の聴講、実験実技を円滑に行うことが出来る。

授業計画 (プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	前期オリエンテーション	授業概要、評価基準、スケジュール等の説明。地震と防災について。	
第2回	1. 段落内の構造	日本語の書き言葉の特徴、和語、漢語、科学技術文の表現と文型	
第3回	2. 話題とメインアイデア	助詞相当語、科学技術文の表現と文型	
第4回	2. 話題とメインアイデア	助詞相当語、科学技術文の表現と文型	
第5回	3. アウトライン	複文、科学技術文の表現と文型	
第6回	3. アウトライン	複文、科学技術文の表現と文型	
第7回	4. 文章構成	指示表現、漢字からの推測、科学技術文の表現と文型	
第8回	4. 文章構成	指示表現、漢字からの推測、科学技術文の表現と文型	
第9回	5. 論の展開	文の構造分析、図表表現、科学技術文の表現と文型	
第10回	5. 論の展開	文の構造分析、図表表現、科学技術文の表現と文型	
第11回	6. 論の方向を示す表現・事実と筆者の考え	文末表現、科学技術文の表現と文型	
第12回	6. 論の方向を示す表現・事実と筆者の	文末表現、科学技術文の表現と文型	

	考え		
第 13 回	7. 論の展開	文末表現、高専祭発表準備	
第 14 回	7. 論の展開	文末表現、高専祭発表準備	
第 15 回	前期末試験	まとめ	×
第 16 回	8. 引用	接続表現と予測、共起する語、高専祭発表準備	
第 17 回	8. 引用	接続表現と予測、共起する語、高専祭発表準備	
第 18 回	発表	高専祭発表練習、科学技術文の表現と文型	
第 19 回	9. 要約	慣用表現、科学技術文の表現と文型	
第 20 回	9. 要約	慣用表現、科学技術文の表現と文型	
第 21 回	10. 論文を読む	全体構成、序論、展開、辞書からの意味づけ、科学技術文の表現と文型	
第 22 回	10. 論文を読む	全体構成、序論、展開、辞書からの意味づけ、科学技術文の表現と文型	
第 23 回	11. 論文を読む	本論その 1、和語、漢語、語構成、科学技術文の表現と文型	
第 24 回	11. 論文を読む	本論その 1、和語、漢語、語構成、科学技術文の表現と文型	
第 25 回	12. 論文を読む	本論その 2、副詞、科学技術文の表現と文型	
第 26 回	12. 論文を読む	本論その 2、副詞、科学技術文の表現と文型	
第 27 回	13. 論文を読む	結論、科学技術文の表現と文型	
第 28 回	13. 論文を読む	結論、科学技術文の表現と文型	
第 29 回	14. 論文を読む	論文「なぜ人は道に迷うのか」	
第 30 回	後期末試験	まとめ	×

課題とオフィスアワー

選択課題：日本語スピーチコンテスト参加 / 地域のイベントに参加 / 自由テーマの作文提出

評価方法と基準

評価方法

試験、質疑応答、練習問題、課題、

評価基準

前期・後期（試験 40%、宿題・提出物 40%、出席・授業態度 20%）

学年末評価（前期 40%、後期 40%、課題 20%）

教科書等 アカデミック・ジャパニーズ研究会編著『留学生の日本語』 論文読解編（アルク）¥1,800
山崎信寿他著『科学技術日本語案内』新訂版（慶応義塾大学出版会）¥4,800

先修科目 日本語初級・中級

関連サイトの URL

授業アンケートへの対応

備考

1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。
2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも 1 週間前に教科目担当教員へ連絡してください。
3. 理解度にあわせてシラバスの変更を行うことがある。